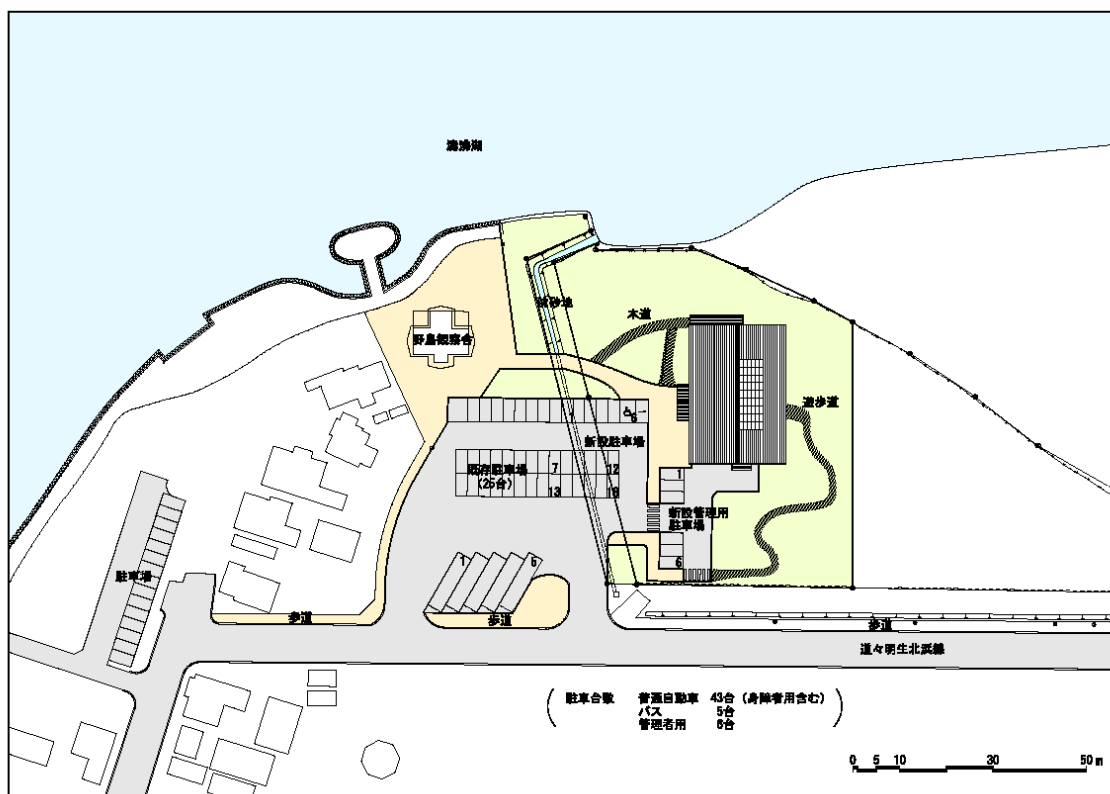


2月説明会時の配置案



2月の説明会での結果

当該地において整備することについて基本的に合意

- ・ 改変面積をより少なくするよう計画を修正すること。
- ・ ヒオウギアヤメと希少種について出来る限り移植するなどして保全すること。

その他の主な意見

- ・ 団体による来訪者も多くトイレ利用に配慮してほしい。
- ・ 傷病鳥対応として油汚染鳥の洗浄機能があればボランティアとして協力できる。
- ・ 遊歩道は必要最小限でよい。
- ・ ヒオウギアヤメのための馬の放牧が必要なので柵を作ってほしい。
- ・ 展示する範囲は濤沸湖だけでなくオホーツク海まで含めた視点で対応して欲しい。
- ・ 白鳥への餌付けはやめる方向で検討すべき。

アヤメ再生地保全の観点からの計画の再考慮

2月説明会時の配置案はアヤメ再生地への配置案となっていたが、現況の

雨水排水路を変更し、現駐車場側へ施設を移動することにより、アヤメの移植、及び希少植物への影響を最小限度にとどめることを検討した。

検討のポイント

- アヤメ再生地（希少種生育地）の改変面積を最大限小さくする。

希少植物の移植には不確実性が残るため、移植を保全措置とするのではなく、最大限回避する。

- アヤメについては移植させやすいため出来る限り移植する。
- 一度埋め立てると再生の困難な湿地（もと低層湿地）のエリアを避ける。



予定地の湿地分布

